

リトアニア首相と会合 経済・文化・観光で協議

福通社長



非公式会談を行ったサウリユス首相と小丸社長（右）

福山通運の小丸成洋社長は1、2の両日、リトアニア共和国で開催された名誉領事大会に出席し、ダリア・グリバウスカイト大統領に謁見するとともに、サウリユス・スクヴェルニス大統領に謁見後、サウリユス首相と両国友好についての非公式会談に臨んだ。引き続き、リナス・リンケヴィチウス外相をはじめ、地域代表部の関係者らと会合を開き、経済・文化・観光交流の在り方などについて意見交換した。

首相ら政府要人及び外務省の地域代表者らとも会合を開き、両国の経済・文化・観光交流の在り方などについて意見交換を行った。このあと、リナス氏が主催した歓迎レセプションに出席、両国の友好に務めた。

小丸氏は2017年1月、在福山リトアニア共和国名誉領事に就任。16年1月、リトアニア政府の視察団が東京支店（東京都江東区）を見学した際、社会貢献の取り組みを知り、名誉領事就任の打診があったという。17年5月には広島県福山市の本社内に在福山リトアニア共和国名誉領事館を開館、両国の交流に一役買っている。

（高木明）

このほか、LED（発光ダイオード）照明、特定フロン対策に対応した冷凍機を導入するなど、環境負荷の低減にも取り組んでいる。

また、食品に関する安全基準も厳しく、輸出入に関わる各種許可申請や輸入禁制品などをしっかりと把握した上で対応しなければならぬ。両者はこれらの状況を打破するために今回のプロジェクトを発足させた。

（高橋朋宏）

20年春採用むけ始動

説明会や就業体験企画

ダイワコーポレーション（曾根和光社長、東京都品川区）の若手社員組織「和く和く（わくわく）」プロジェクト（PJ）の5代目が13日、2020年4月の新卒採用に向け始動した。入社3年未満の社員23人から成り、学生向けの説明会やインターンシップ（就業

体験）の企画・運営などを主導していく。

現場を含めた各部署から学生に近い年代の若手をPJに起用し、若年層人材を確保するとともに、部署や同期以外の社員間のつながりを強める。入社満3年でPJから卒業となる。5代目メンバーは男性10



人、女性13人。PJのリーダーは、男性が横浜金沢営業所（横浜市金沢区）の田中海氏（25）、女性は川崎営業所（川崎市川崎区）の河野伶奈氏（24）。

今回から①広報の会社説明会③倉庫見学会④インターンシップの各チーム体制とし、20年4月の新卒入社に向け、1年9カ月かけて採用に関わる様々な活

ダイワコーポレーションの頭文字「D」のポーズを取る5代目と和く和くプロジェクトのメンバーと曾根社長（最前列中央）ら

動を展開する。

これまで会社説明会は、100〜200人規模で開催していたが、19年1月からは自社会議室を会場とした小規模な説明会も開く。

また、インターンシップ受け入れにも力を入れ、今月末から来年1月までに、現場体験を含めた計28回のインターンシップを企画する。

更に、19年4月入社の内定者9人の親睦イベントや



ジャスト・イン・タイム配送に優れる新倉庫

15日から営業を始めて、引き続き、インドの拠点施設としての機能を果たしていく。

新倉庫はニューデリー

内定式などのフォローも担当。内定者が入社前にあらかじめ多くの先輩社員と接点を持つことで、入社日に寂しい思いをしたり不安にならないうようにする。

曾根社長（50）は「入社時の本人の能力も大切だが、企業として必要なのは、入社以降の人間力を高める『人財育成』。新入社員が心からわくわくして入社目を迎えられることを願う」と話した。

（吉田英行）

インドに物流倉庫 工業団地に至近

近鉄エクスプレスは17日、インドの現地法人KWEインドがハリヤナ州グルガオン地区に物流倉庫を開設した、と発表した。6月

コンテナ&車扱い減少

JR貨物4〜6月